

## 2017年度 白石高校3年 倫理 研究課題 <源流05>

教科書：p35～p37 資料集：p37～38 ノートp22～23

### ●ヘレニズム思想

アレクサンドロス大王の帝国→ポリス（独立した都市国家）の崩壊

→個人がバラバラ化 →新しい生き方を求める動き

#### ①ストア派（活動した土地名に由来。ストイック（禁欲的）の語源）

ゼノン「自然と調和して生きよ」＝理性に従って生きよ

情念に動かされない自由な境地（アパテイア）が理想（禁欲主義）

※「自由」＝自然の力に従うこと（～への自由）（外向的）

※理性はすべての人がもつ。→すべての人間は理性をもつ点で平等

→コスモポリタニズム（世界市民主義）（→キリスト教が広がる土台を形成）

※のちローマ帝国の時代に大きな影響（例：キケロの自然法思想、セネカ）

#### ②エピクロス派

エピクロス「（世俗から）隠れて生きよ」＝安定した精神的快楽を求める（快楽主義）

恐怖にわずらわされない魂の平安（アタラクシア）＝最高の快楽＝最高善

※「自由」＝自然の力から逃れること（～からの自由）（内向的）

#### ※新プラトン主義

古代キリスト教思想（アウグスティヌス）に影響を与えた思想。

プロティノス「万物の根源は一者（ト・ヘン）」

#### ※キュニク派

ディオゲネス：樽を住居として乞食のような生活。アレクサンドロス大王を揶揄

#### ※古代懐疑論

ピュロン：心の平静を得るためには経験的な事物の真偽について判断を停止すべき

★ヘレニズム思想は、ソクラテス・プラトン・アリストテレスたちの思想と比較したとき  
根本的な前提が異なっている。どこが違うのだろうか？

.....  
.....